

# 日本語の敬語とテガル弁のジャワのクラマ における対照研究

社会言語学的研究

プルウオ・ジャチィ・クスモ  
20130830058

## 要旨

本研究は日本の敬語とテガル方言のジャワ語の敬語における言語の対照的分析、と題された研究である。本研究の主な焦点は、日本語とテガル語について、様々な状況においてそれぞれの会話の中で使われる敬語の類似点と相違点を見つけることである。オフィス、ホテル、住宅、この3つの場所、状況においてさまざまな敬語の使用を分析する。敬語は、日本語のコミュニケーションにおいて、相手を尊重する気持ちを表す言語表現の1つである。本研究は、日本の敬語とジャワのテガル方言の敬語、両方において、その言語を理解し、使用するための第一歩として提示している。分析のためのデータは同じ状況において分析するため、先に日本語会話を分析し、それから、その日本語会話をジャワのテガル方言へ翻訳しデータを集める。本研究で用いられる方法は、Sutedi (2009:116) によって提案された対照分析である。

本研究では、データ解析の結果をもとに、日本語の敬語とジャワ語のテガル方言の敬語について類似点を発見した。日本語の敬語は丁寧語、尊敬語、謙譲語、この三つのバリエーションに分けられている。ジャワ語のテガル方言の敬語は、三つのバリエーションに分けられている。クラマ、クラママディヤ とクラマインギル。丁寧語 とクラマは、相手に一般的に敬意を表すために使われ、同じ機能を持っている。謙譲語 とクラママディヤは、相手より自分を下げることによって相手への敬意を表すための機能を持っています。尊敬語とクラマインギルは、相手を昇格することによって直接敬意を表す機能を持っている。

本研究により、日本語とジャワ語のテガル方言の敬語の使用について、使用の違いが分かった。日本語では、他のバリエーションに比べて丁寧語のバリエーションが非常に多く、一方、ジャワ語のテガル方言の敬語では他のバリエーションに比べて、よりクラマインギルの使用が多いことが分かった。

キーワード: 敬語、クラマ、対照分析、日本語、ジャワ語のテガル方言

## 1. 序論

日本語では、敬語は、言語の多様性の一つとして、書面や口頭でのコミュニケーションで使用されている。敬語は、日本語において、相手を尊重するために使われる言葉である。寺田 (1984:238) によれば、相手または第三者への敬意を表すために使用される。野村 (1992:54) によれば、敬語は聞き手の立場を上げ、会話の主体になる人に使われる。すなわち、敬語は、話し手により謙虚に使用される言語であるか、正式な場においてコミュニケーションのために使用される。

日本語の会話では、オフィスの上下関係において、話し手の感情を尊重する表現として使用される。さらに、相手にスムーズな方法で何かを求めるためにも使用される。外国人にとって敬語は、尊敬の言葉として複雑な言葉である。また、意図したことを直接に表現しないが、敬語は特定の単語として独自の特徴を持っている。

ジャワの会話テガル方言では、テガル方言は日本語の敬語に似て、様々な敬意を持っている。クラマは礼儀正しい (Suwadi, 2013:3) という気持ちを非常に尊重している意味でレベルがある。このレベルは、上下関係を持つ話し手に対して消極 (*pakewuh*) 感を示すものである。

日本語とジャワ語のテガル方言の敬語は、様々な場面での使用方式を持っている。オフィス、ホテル、住宅という三つの場面において、日本語とジャワ、テガル方言の敬語について、どのような違いがあるかについて対照研究を行う。これにより、両方の言語の類似点と相違点を知ることができる。さらに、2つの言語間の相互対照の結果は、言語内部の難しさを見つけるために使用することができ、どのようにこれらの困難を克服するか、学習の過程で利用されることが期待される。

敬語の研究は、Suherman (2005)、Hartati (2008)、Kusumo (2001) の研究のように、教育の世界だけでなく、言語と言語の性質、日本の言葉に関連する研究の形で広く行われている。しかし、日本の敬語とジャワの

テガル方言の敬語の類似点や相違点を探る研究はあまり行われていない。前に述べた研究のいくつかからは、次のポイントに要約することができる。

- a. 日本語敬語の使用とジャワ語における敬意を表す言語の多様な使用は、一般的には、社会階層の存在と特に若い人の敬語不使用に表される、と Suherman (2009)の研究である。
- b. 日本語とジャワ語の敬語の使用における違いは、ジャワ語では存在しないが、日本語ではウチ・ソトの存在を認識している (Suherman, 2009)。

## 2. 本論

本研究では、日本の正式・非正式な状況において、4つのカテゴリー、言語のバリエーション、社会的地位、状況、文末表現から日本語の尊敬語とテガル方言の尊敬語（クラマ）の類似性と相違点に焦点を当てている。本研究の主な焦点となるのは、日本語の教科書から、オフィス、ホテル、住宅という状況にて発生する会話における、日本語とジャワ語のテガル方言である。本研究において敬語の変化は、時間変動という要因だけでなく、文末が変化することに求められている。

データの分析に使用される方法は文献の検討および文献の調査による方法である。この手法は、研究のテーマに関連して書かれたデータを収集するために使用される。次に、敬語の言語のバリエーションを経て、ジャワ語のテガル方言と一致する日本語の会話の中から行った。“オフィスの日本語”、“ビジネスの日本語1”、“ビジネスの日本語2”、“日本語中級1”から“ソースランゲージブック日本語”である。

分類の状況に基づいて、データを取得した後、次に、(Sutedi, 2009:116)で表される 対照分析 の割合の方法による分析を行う。

40のテキスト会話を使用したデータは、20の日本語の会話テキストと20のジャワ語のテガル方言を話す中から成り立つ。40のテーマ

と同じ状況に基づいて選択したテキストを、日本語の尊敬語とジャワ語のテガル方言の尊敬語、この二種類のテキスト会話を分析した結果、敬語の形にばらつきが見られ、それらは敬語のバリエーションを活用する要因となり、同じ状況で異なるバリエーションを示した。

#### **a. 日本における敬語の変化-言語会話テキスト**

取得したデータは、日本の敬語の状況に関する言語のバリエーション;オフィス、ホテル、住宅における丁寧語、尊敬語、謙譲語に分けられる。丁寧語は、相手に一般的に敬意を表すための機能を持っている。謙譲語は、相手より自分を下げることによって敬意を表す機能をもっている。尊敬語には、相手を昇格することによって直接敬意を表す機能がある。この三つの状況を踏まえ、最も多く敬語の言語の変動出現率が示されたのは丁寧語である。

特別に指摘された敬語のバリエーションは次のようになる。丁寧語; ‘-です、-ます、-ございます’である。謙譲語; ‘-いただく、-くださる、-まいる、-おおそれる、-うかがう’である。尊敬語; ‘-いらっしゃる、-おっしゃっている、-お…になる、-なさる’である。

敬語のための三つのバリエーションの出現は、いくつかの要因に影響を与えられる。影響を与える要因は、ウチソト、親密度、地位、および社会的関係の概念である。ウチソトの概念、誰と話をし、誰と話をするか、このことに注意を払うことを示している。

#### **b. ジャワの会話テガル方言における敬語の変化**

得られたデータに基づいて、オフィス、ホテル、住宅という状況にて、ジャワ語のテガル方言の敬語には、3つのバリエーションが登場する。表示されるバリエーションの形式は、クラマ、クラママディヤ、クラマインギル、これらは話をする相手に丁重に感情を表現するために使用される様々な敬意である。クラマは、自分を分解する方法で、丁重に感情を表現

するために使用される様々な敬意である。クラマインギル は、丁重に直接感情を表現するために使用されるさまざまな敬意である。三つの状況において、クラマインギルの出現割合は最も高い。

ジャワ語のテガル方言におけるクラマ=丁寧語の変化の出現は、特別なクラマにより示される。そして、一般的にクラマのバリエーションは、会話を開始するとき使用される。クラマの中では、標準ジャワ語と普通語の割合にて、語彙の尊重は多くみられない。これに対して、クラママディヤ=謙譲語においては、語彙の尊重が多くみられる。クラマインギル=尊敬語においては、一つの丁寧語にはすべての標準ジャワ語の語彙の尊重を使用している。

クラマのバリエーションは要因によって影響を与えられる。この1つ目の要因は親しみのレベルである。2つ目の要因は社会的な背景に基づいて見ることができる;体型や表情、話し方、立場場関係,血縁関係、経済力、性別、年齢などに基づいている。

### c. 日本語とテガル方言における敬語のバリエーションの類似点

データ分析に基づいて、日本語とジャワ語のテガル方言の敬語には類似点がある。それは、敬語のバリエーション、敬語の使用要因、ホテルという場所における状況に応じたバリエーション、これらの類似点である。日本語とテガルの方言における敬語のバリエーションは、それぞれ3つのバリエーションで表示される。日本の敬語は、丁寧語、尊敬語、謙譲語といった言語のバリエーション。一方、ジャワ語のテガルの方言では、クラマ、クラママディヤ、クラマインギル。日本語とジャワ語のテガル方言の敬語に登場する敬語のバリエーションは、丁寧語とクラマ、謙譲語とクラママディヤ、尊敬語とクラマインギル それぞれは同じ機能を持っている。

敬語の使用に影響を与える要因は、親密さと社会的関係のレベルである。ほとんどの状況に示される敬語のバリエーションである。ホテルと

いう場所における状況では、日本語やジャワ語のテガル方言に表れるバリエーションは、丁寧語とクラマである。

#### d. 日本語とテガル方言における敬語のバリエーションの相違点

日本語とジャワ語のテガル方言の尊敬語の使用の違いは、日本語にはウチソトの概念があること、3つの場面での発生率のマーカである。日本語は、各バリエーションに敬語定型を持っている。丁寧語は、‘-です、-ます、-ございます’である。謙譲語は、‘-いただく、-くださる、-まいる、-おそれる、-うかがう’である。尊敬語は、‘-いらっしゃる、-おっしゃる、-なさる、-お…になる、-なさる’である。一方、ジャワのテガル方言の敬語は特別な定型を持っていない。丁寧な標準ジャワ語の語彙の尊重の存在によって特徴付けられるだけである。

日本語における多様性の尊重は、日本語の敬語にはウチソトの概念があるがジャワ語のテガル方言の敬語においてそれはない。また、3つの場面状況で発生するバリエーションには違いがある。日本語の敬語使用において、最も豊富に登場するバリエーションは丁寧語である。一方、ジャワ語のテガル方言の尊敬語では、クラマ インギル=尊敬語である。登場するバリエーションの量は、日本語の敬語は全 199 データの 153 に丁寧のバリエーションが表示された。一方、ジャワ語のテガル方言の敬語においては、前 155 データの 91 にクラマ インギル=尊敬語のバリエーションが表示された。

### 3. 結び

本研究からは、日本語の敬語とテガル方言のジャワ語の敬語には、三つの敬語のバリエーションがあることが分かった。そして、三つのバリエーションは両方の敬語にとって、同じであった。しかし、場面状況が同じである時、敬語の使用は異なっていた。つまり、日本語は丁寧語をたく

さん使うが、ジャワ語のテガル方言はクラマインギルをたくさん使うことが分かった。

### 参考文献

1. Chaer, Abdul dan Leoni Agustina. 2004. *Sosiolinguistik: Perkenalan Awal*. Jakarta: PT Rineka Cipta
2. E.M. Uhlenbeck. 1964. *A Critical Survey of Studies on the Languages of Java and Madura, Kon. Inst. Voor Taal-, Land- en Volkenkunde, Bibliografi Seri 7*. Nijhoff, : Den Haag. Hal 46
3. Kusumo, Puspito. 2001. *Perbandingan Keigo dan Krama dalam kajian Sosiolinguistik*. Skripsi S1: FIB UGM
4. Lado, Robert. 1957. *Linguistic Across Cultures: Applied Linguistics for Language Teachers*. Ann Arbor, Michigan: University of Michigan Press
5. Mahsun. 2014. *Metode Penelitian Bahasa: Tahapa Strategi, Metode, dan Tekniknya*. Jakarta: PT RajaGrafindo Persada
6. Masaaki Nomura & Koike Seiji. 1992. *Nihongo Jiten*. Tokyo: Tosho Insatsu
7. Masao Hirai. 1989. *Nandemo Wakaru Shinkokugo Handobukku*. Tokyo: Sanseido
8. Poejosoedarmo, Soepomo dkk. 1979. *Tingkat Tutur Bahasa Jawa*. Jakarta: Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa-Departemen Pendidikan dan Kebudayaan
9. Suherman, Eman. 2009. *Tingkat Tutur Bahasa Jepang dan Bahasa Jawa: Analisis Kontrastif*. Jurnal. Humaniora: Vol 21: 213-222
10. Sutedi, Dedi. 2009. *Penelitian pendidikan bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora
11. Suwadji, dkk. 1981. *Struktur Dialek Bahasa Jawa di Pesisir Utara Jawa Tengah (Tegal dan sekitarnya)*. Jakarta: Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa-Departemen Pendidikan dan Kebudayaan
12. Utomo, M. Hadi. 2013. *Kamus Tegal – Indonesia*. Tegal: Pemerintah Kabupaten Tegal
13. Yoshio Ogawa. 1989. *Nihongo Kyouiku Jiten*. Tokyo: Taishuukan Shoten